

福井市長 様

集 落 協 定 名 ●●
集落協定代表者名 ●● ●●

令和7年 中山間地域等直接支払交付金収支報告書

1 交付金に係る配分

R7.1～12月末までの個人配分の総額を記入。

(1) 配分総額

A 個人配分＝(R7年度個人配分)＋(R7.1月以降に支出したR6年度個人配分)

	総 額(円)	配分等の基礎	
A 個人配分		面積割	R7年度(▲▲▲▲ 円)＋R6年度(●●●● 円)
B 共同取組活動分			R7年度(▲▲▲▲ 円)＋R6年度(●●●● 円)
合 計			R7年度(▲▲▲▲ 円)＋R6年度(●●●● 円)

B 共同取組活動分 ＝ 合計－(A 個人配分)

合計 ＝ (R7年度交付金額) ＋ (R6年度交付金額)

(2) 共同取組活動支出額

支 出 項 目	支出額(円)	備考(R7年度)	備考(R6年度)
①集落の各担当者の活動に対する経費			
②農業生産活動等の体制整備に向けた活動等の集落マスタープランの将来像を実現するための経費	●支出項目 ①～⑤について 備考(R6年度)と	●R7年度交付金について R7.4～12月末の支出を記載。	●R6年度交付金について R7.1月～3月の支出を記載。
③水路、農道等の維持・管理等集落の共同取組活動に要する経費	備考(R7年度)の共同取組活動支出額の2年分の合計を記載する。	※R8.1月以降の支出は、⑥残額へ	
④集落協定に基づき農用地の維持管理活動を行う者に対する経費			
⑤その他			
C 総 計 (①+②+③+④+⑤)		支出額や内容は、協定書「第7 交付金の使用方法等」と概ね一致する必要があります。確認してください。(大きく異なる場合は変更届が必要)	

D 前年の残額(積立額)	—	
⑥残額 (積立金・繰越金) (B+D-C)		R7.1～12月までの残額がある場合、用途を必ず記載してください。 (基本的には、協定書で積立金・繰越金を取り決めている場合に限る)

2 協定参加者別細目

集落

番号	協定参加者名	個人配分額	共同取組活動分		合 計	
		収入額 ①	収入額 ②	支出額 ③	収入額 ①+②	支出額 ③
1						
2						
3	協定参加者の名前をすべて記入。 (協定書と同じにしてください。)	R7.12月末までに、協定参加者に配分した「個人配分額」をそれぞれ記入	R6、R7年度交付金の「共同取組活動分配分額」(1枚目(B))を、協定参加者で割り返した額をそれぞれ記入	共同取組活動として実際に支出した額(1枚目(C))を、協定参加者数で割り返した額をそれぞれ記入		
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17	1枚目の1-(1)の「A 個人配分」と同額	1枚目の1-(1)の「B 共同取組活動分」と同額		1枚目の1-(2)の「C 総計」と同額		
18						
19						
20						
合 計		A	B	C		

令和7年中山間地域等直接支払交付金収支証明書

市記入欄

令和7年12月31日までの直接支払交付金に関する収支について、上記のとおりであることを証明する。

令和 年 月 日

福井市長

<記入例>

【注意】令和7. 1月～12月の収支決算書

中山間地域等直接支払交付金収支決算書

令和7年1月～令和7年12月

収入の部 (円)

項 目	金 額
直接支払交付金	令和7年度交付金額 ★
前年の残額(D)	「1枚目 収支報告書」の(2)共同取組活動Dの額 ●●●●
合 計	★

支出の部 (円)

項 目	金 額
個人配分(A)	「1枚目 収支報告書」の(1)A 個人配分の額 200,000
集落の各担当者の活動に対する経費(①)	50,000
集落マスタープランの将来像を実現するための経費(②) (農業生産活動等の体制整備に向けた活動等)	100,000
水路、農道等の維持・管理等集落の共同取組活動に要する経費(③)	100,000
集落協定に基づき農用地の維持・管理活動を行う者に対する経費(④)	60,000
その他(⑤)	
積立・繰越に関する経費(⑥)	※R7.12月末までに個人配分していない場合は、ここに含める。(→その場合、「R7年度個人配分含む」と記入) 3,000
合 計	★

同額になる

以上のとおり、相違ありません。

年 月 日
() 集落協定会計担当

集落名、会計担当者の名前を記入